

2021年度活動方針

1. 2021年度方針

当事者の方、個人、行政、団体、企業など様々な方々のそれぞれの立場、環境、想いがあることを知って欲しい。その上で、私達自身ができること、すべきことを考えるきっかけとして頂けたらと考えます。

(1) 2021年度は「会いに行こう」を一つのキーワードに進めていきます。

(2) 2021年度も、コロナ禍は継続にありますが、kfopのコロナ禍における活動マニュアル(健康管理、フィジカルディスタンス)に基づき推進していきます。

(3) 「知る、伝える」、そして「寄り添い」を継続していきます。

(4) 役員は2年任期の2年目です、変更はありません。事業担当も同様です。

2. 事業計画

(1) 現地活動

(現地が必要とする復旧復興のニーズに応え、一緒に汗をかく、つながる)

① 現地の方に「会いに行く」をキーワードに、現地に会いに行く+可能な活動で進めます。

② 現地集合・現地解散、また人数を絞ったレンタカー利用での現地活動など進めます。

③ 現地集合・現地解散は、@5,000円(上限) / 一人(年度3回、月7人)迄の旅費交通費(電車代、バス代、高速代)をkfop事業費に計上します。(事前申請手続きあり)

④ 予算は、328,200円を計画しています。

(2) 連携活動

(関東圏および現地の団体と連携し、被災・避難当事者のためのつなぎ手となる)

① 年4回程、各連携会議など出席し情報の共有に努めつなぎ手となっていきます。

② 維持管理で現地を訪問(費用は維持管理で計上)し地元の方々との繋がりを維持します。

③ 予算は、80,000円を計画しています(現地訪問費を除く、神奈川、関東県内の費用)

(3) 視察研修

(福島県内の地域を訪問し視察研修を行い、福島の当時・今・これからを伝えていく)

①知る機会、伝えることを目的として計画的に進めます。

- ・2021年11月20日～21日で双葉町、双葉郡を計画します。
- ・実施方法は、現地集合・現地解散、オンライン参加なども検討しています。

②予算は、235,000円を計画しています。(主に現地費用、調整費用などの予算です)

(4) 情報発信

(講演会や勉強会、イベントへの出展等を通じて福島現状・生の声を神奈川に伝える)

①2021年6月19日に第10回総会を実施します。

②知る機会、伝えることを目的として計画的に進めます。

- ・2021年7月17日に第12回勉強会を検討しています。
- ・2022年1月15日に第13回講演会を計画しています。

③その他、都度情報発信を行います。

④予算は、418,000円を計画しています。(主に講演会、勉強会の費用になります)

(ご協力をお願い＜動画作成＞)

kfop活動写真、現地撮影動画などを整理して、kfop活動紹介、現地紹介などみなさんに伝えることが出来るように、動画作成を進めていきます。

みなさんで、また皆様のご家族、お知り合いの学生さんなど動画作成が得意な方、得意でなくても手伝ってみよう、と言う方が居ましたら、是非ともご協力いただきたく、募集させていただきます。多くの記録があります。info.kfop@gmail.com (kfopメール) までご連絡をお願いします。

(5) 災害復旧支援

(国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に緊急対応する)

①いざという時に動ける体制で臨みます。

②予算は、100,000円を計画しています。(発災時は助成金を申請しますが、初動費用)

(6) 維持管理

(現地の民間団体・個人、行政とのつながりの維持を目的として現地訪問を行う)

- ①現地訪問を維持し、事業のすべてにおいて、つながりを大切にしていきます。
- ②コロナ化で会議等は広めの有償会場、また Zoom を利用したオンラインを継続します。
- ③予算は、557,790 円を計画しています。(運営維持の全般の費用となります)

(7) その他

- ①(有志活動) 美味しいふくしま、主宰メンバーで出来ることを模索していくと思います。
- ②神奈川と現地との繋がり様々あります。出来ること進めます。

かながわ「福島応援」プロジェクト

代表 渡辺孝彦